

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2020 年 5 月 19 日 Ver. 3

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	3次元定量的冠動脈造影解析に基づく Quantitative Flow Ratio の診断精度と臨床的有用性に関する研究：Part2
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 循環器内科
研究期間：	西暦 2018 年 2 月 17 日～西暦 2021 年 5 月 31 日
研究目的と意義：	<p>本研究の目的は、当院で心臓カテーテル検査の際に冠動脈病変の重症度を把握するための補助検査として圧ガイドワイヤーを用いた冠動脈血流評価を行う患者さんを対象に、専用ソフトウェアを用いて画像解析による新たな指標 Quantitative Flow Ratio（以下 QFR）を算出し、診断精度と臨床的な有用性を検証することです。QFR が迅速・簡便かつ高精度に心筋虚血指標を反映することが示されれば、より侵襲性の低い、また簡便な検査で冠動脈狭窄病変の重症度の評価が可能となり、臨床的に有用性の高い診断方法となり得ると考えます。</p> <p>ちなみに 2016 年～2017 年にかけて当院で過去にカテーテル検査を行った患者さんのデータを用いた初期評価で、QFR は高い精度で心筋虚血指標と相関することが示唆され、本研究の結果を本邦では初めて当院から学術論文として報告しました。</p>
研究内容：	<p>●対象となる患者さん</p> <p>2017 年 1 月 2 日から 2021 年 5 月 31 日までの間に当院で、心臓カテーテル検査を行う（行った）患者さん。</p> <p>●利用するカルテ情報</p> <p>性別・年齢・高血圧の有無・脂質異常症の有無・糖尿病の有無・原疾患・冠血行再建の既往歴・心臓カテーテル検査のデータなど</p> <p>●研究方法</p> <p>カルテより情報収集し、得られたデータと、専用ソフトウェアとの値を統計学的に比較検討します。</p>
問合せ先：	<p>【研究責任者】</p> <p>医師名：大塚 雅人 医療法人財団荻窪病院 循環器内科 住所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電話：03-3399-1101 (代表)</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（本研究に関する相談窓口） 窓口：大塚 雅人（医師） 電話：03-3399-1101 (代表) 受付時間：月～金 8：30～17：00（土・日・祝日を除く）</p>